

日本共産党

さがみはら市議団ニュース

No.62

2016年5月

編集・発行 ● 日本共産党相模原市議団 相模原市中央区中央2-11-15 (市役所内) 電話：042-769-8314 FAX：042-754-7696

市議団HP <http://www.jcp-sagamihara.net> メール info@jcp-sagamihara.net

3月
議会報告

新年度予算

市民負担増を押し付けながら、「広域交流拠点」都市づくり?!

3月定例会議が2月22日から3月24日まで開かれました。今会議では、2016年度一般会計および特別会計予算の審査をおこなったほか、市学校職員の給与に関する条例案、地域包括支援事業の実施に関する条例改正案等について、審査をおこないました。

新年度当初予算の特徴

昨年10月の予算編成検討の時点では34億円の赤字(財源不足)となり、当初予算は自治体の貯金にあたる財政調整基金を取り崩して編成せざるをえませんでした。この結果、財政調整基金

の残高は過去最低額となり、市は今後、財政運営が厳しくなるとの考えを示しています。

「広域交流拠点」予算増大へ

市は、リニア駅建設や米軍相模総合補給廠の一部返還に伴い、橋本駅および相模原駅周辺を一体的に整備する「広域交流拠点整備事業」を進めています。

この事業については、これまでに調査研究費等で、13億6千万円が投入されています(11年度決算から16年度当初予算まで)が、今後、工事がさらに

具体的に進めば、市の負担が一層増大し、市財政に大きく影響することは必ずです。

「整備計画」案に事業費示されず

市は今年度、「広域交流拠点整備計画」(案)を策定し、夏ごろに市民に意見を求めるパブリックコメントを実施する予定ですが、現時点でも各事業費や市の負担割合などは一切示されていません。

財政的な裏付けや、財政の中長期見通しもない状況のなかで事業を強行することは、無責任ではないでしょうか。

市民負担増、つぎつぎと

4月から、市営斎場火葬料の有料化や、42公共施設の使用料の値上げが実施されました。

市では今後、3年ごとに直直しをおこない、施設によっては最終的に2〜5倍、最高で10倍もの値上げをおこなおうとしています。さらに、公民館の有料化の検討も進めています。

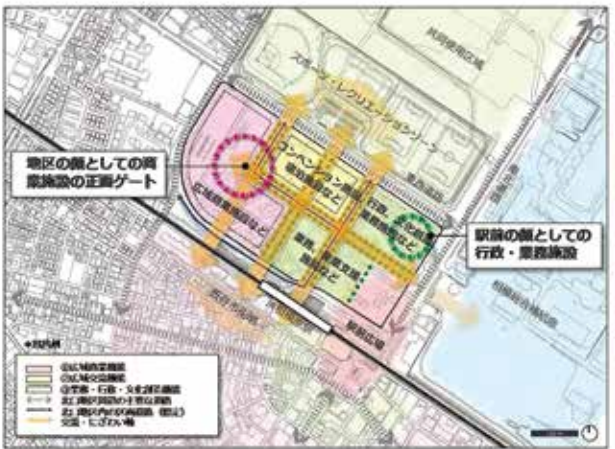
介護保険料や後期高齢者医療保険料、国民健康保険税等、市民の負担増が連続しているなかで、さらに二重三重に負担増を押し付けるのは、市民

「広域交流拠点整備計画に関する答申」より(答申は市のホームページから見ることができます)

橋本駅周辺イメージ図



相模原駅周辺イメージ図



公共施設の改修・更新で財政支出増へ

市の生活実態や声を受けとめない、市民不在の市政運営と言わざるをえません。

市が策定した「相模原市公共施設白書」では、今後、土木インフラや公共施設の大規模改修・更新にかかる費用について、平成44〜53年度にピークを迎え、年平均230億円に達する見込みと試算されています。今後、確実にこうした費用が増大していくこととなります。

市民の安全を守り、市民のいのち、暮らしを最優先するまちづくりこそ、市民の願いではないでしょうか。

3月定例会議 採決結果

	共産 (5人)	自民 (14人)※1	民主・市民※2 (13人)	公明 (8人)	颯爽 (5人)
一般会計予算	×	○	○	○	○
国民健康保険事業特別会計予算	×	○	○	○	○
介護保険事業特別会計予算	×	○	○	○	○
麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業特別会計予算	×	○	○	○	×
年金削減を取りやめ、マクロ経済スライドの廃止、最低保障年金制度を求めることについて	○	×	×	×	○×

※1 自民党相模原市議団は15人ですが、議長は採決できないため、14人となっています
※2 「民主・市民クラブ」は4月15日付で、「民進党・市民クラブ」に会派名が変更されました

安倍政権NO!

市民と野党が力あわせ、未来ひらく政治を!